

7川健障施第554号
令和7年7月3日

各指定障害児通所支援事業者 様

川崎市健康福祉局障害者施設指導課長

送迎時の安全対策について（通知）

平素より、本市の障害福祉行政に御尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、気温の高い日が続いておりますが、特にこれからの時期は車内が短時間で高温になるため、こどもが車内に残されていた場合は非常に危険です。

つきましては、安全な送迎を行うために車での送迎時において基準で求められる内容や、国が示す安全管理マニュアル及び毎日使えるチェックシート等を次のとおりお知らせしますので、御確認のうえ、日々の送迎業務に御活用いただくようお願いいたします。

1. 基準で求められる内容

※基準条例から一部抜粋（放課後等デイサービスについては準用）

（自動車を運行する場合の所在の確認）

第41条の3

指定児童発達支援事業者は、障害児の事業所外での活動、取組等のための移動その他の障害児の移動のために自動車を運行するときは、障害児の乗車及び降車の際に、点呼その他の障害児の所在を確実に把握することができる方法により、障害児の所在を確認しなければならない。

2 指定児童発達支援事業者は、障害児の送迎を目的とした自動車（運転者席及びこれと並列の座席並びにこれらより一つ後方に備えられた前向きの座席以外の座席を有しないものその他利用の態様を勘案してこれと同程度に障害児の所在の見落としのおそれが少ないと認められるものを除く。）を日常的に運行するときは、当該自動車にブザーその他の車内の障害児の所在の見落としを防止する装置を備え、これを用いて前項の規定による所在の確認（障害児の降車の際に限る。）を行わなければならない。

⇒ 第41条の3第1項について

例えば、送迎当日の送迎対象児童名が記載されたリストを参照しながら、送迎対応が済んだ対象児童にチェックを付けていく等、点呼に加えて障害児の所在をもれなく確実に把握することができる方法で確認を行ってください。

⇒ 第41の3第2項について

ブザーについてはあくまでも見落とし防止のための一つの手段にすぎないため、ブザーとともに、目視確認や国が示すチェックシートの活用等を行い、見落としの無いようお願いいたします。

2. 国が示す送迎時の安全管理マニュアル、毎日使えるチェックシート等について

こども家庭庁のホームページ上に、送迎に当たっての安全管理マニュアルや、毎日使えるチェックシート等が掲載されています。御確認のうえ、積極的に御活用ください。

(こども家庭庁ホームページ URL)

https://www.cfa.go.jp/policies/child-safety/effort/anzen_kanri/

問合せ先

川崎市健康福祉局障害者施設指導課事業者指導担当

電話 044-200-0082

メール 40sidou@city.kawasaki.jp